

令和6年度（2024年度）熊本県立芦北高等学校 第3学期始業式

校長あいさつ

令和7年（2025年）1月8日（水）草野 貴光

皆さん、新年明けましておめでとうございます。

今年のお正月は穏やかな天候が続き、清々しく過ごせていたのではないのでしょうか。冬休み中は、皆さんが授業や実習、部活動、アルバイトなどにも取り組んでいる様子が見られました。また、趣味に没頭した人、家の手伝いを沢山した人、ゆっくり休んだ人もいたかも知れません。やらなければならないこと、やっておいた方がいいことから逃げずに、自分にとって意味のある時間であったと言えるなら幸いです。

皆さんは、この1年の目標や夢を考えたことと思います。

私の今年の目標は「心を整える」です。この言葉は元サッカー日本代表で長くキャプテンを務めた長谷部 誠 選手の著書の題名です。感銘を受けて読んだことを思いさして今年の目標にしました。日々、様々なことが起こるのが人生です。だからこそ心を日々整え、心の波に流されないようにすることが大切だと考えています。今日を大切に過ごし、次の日に良い影響を残す。先をイメージし、見通しを持って日々挑戦していくことが大切です。怖れずに探究していくことが、日々を丁寧に過ごすことだと考えています。

3学期、皆さんの学校生活でのキーワードは「自己実現」です。

「自己実現」の表現の仕方は様々で、世代によって違いがあるようです。私たち昭和の終わりから青春時代を送った世代は、物を持つことが自己実現の証にしていました。働き、給与を得て、欲しい物を買って、それを身に付ける。洋服や時計、車などがその証でした。早く自立をして生活をするという思いも持っていました。

ほかの世代では余暇を楽しむことが表現となり、さらには推し活が表現となっています。皆さんにとって自己実現するとはどういうことでしょうか。それを自分で考えて、どう表現していくのか考えてください。

話は変わりますが、漫画「ちいかわ」で黒い流れ星の話があります。ある楽しい日に「こんな楽しい日はずっと続けば良いのに」とちいかわは願いました。そうしたら楽しい思い出の出来事が何度も繰り返して起こります。知らないうちに黒い流れ星に願いとして叶えられていました。しかし、繰り返しの日々に、明日が訪れないことに不安になり、努力したことが積み上がっていかない状況に、何だか気持ち悪さを抱きます。

何か苦しいことがあったとしても楽しいことばかりでは成長もできず、もっとやれるという思いを人は持ち、経験を積み重ねて人は生きていきます。皆さんも今の楽しさだけに捕らわれず、自分の機嫌は自分で取り、自分で自分を幸せにしましょう。

結びに、インフルエンザなどの感染症が大流行をしています。感染症の予防は全員で取り組み、3年生は高校生活の集大成になるよう心掛け日々過ごしてください。それでは、ワクワクする1年間、3学期にしていきましょう。